



# 年頭のごあいさつ

社会的に信頼される国保連合会を目指して

島根県国民健康保険団体連合会  
理事長 田中 増次

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から、国民健康保険事業の発展と健全な運営にご尽力されている関係の皆様方に対しまして、心から敬意を表しますとともに、本会の事業運営につきまして、格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

国民健康保険は、制度創設以来、国民皆保険制度の中核として医療保険制度を支えてまいりました。しかしながら、長きにわたる経済不況の影響等による保険料収入の減、少子高齢化の急速な進展や医療技術の高度化による医療費の増加など、市町村国保の財政運営は、依然として大変厳しい状況が続いております。

国においては、長期的に持続可能な医療保険制度の構築を目指して、「社会保障と税の一体改革」の中で消費税の引上げ、被用者保険の適用拡大、市町村国保の低所得者に対する保険料軽減、高額療養費の拡充、高齢者医療制度の見直し等を検討されております。

一方、島根県では、昨年9月に「市町村国保広域化等支援方針」を策定され、市町村国保の都道府県単位による広域化に向けた具体的な道筋が示されました。本会としても県や市町村と連携を取りながら、方針に沿って事業の拡充強化を図り、広域化の推進に協力し

てまいりたいと考えております。

こうした中、昨年末には、レセプト審査支払事務の統合に関して政府が検討を始める方針を示すなど、国保連合会を取り巻く情勢は大きな転換期を迎えております。本会としましては、統合問題を念頭に、支払基金との競争環境を踏まえ、基幹業務である審査支払業務の充実及び効率化に一層努めてまいります。

また、昨年稼働した国保総合システムの安定した運用に努めるとともに、保険者機能の代行機関を目指し、保険者支援業務の拡充強化を推進してまいります。保険者の厳しい財政状況を踏まえ、更なる経費節減や手数料の見直し等を図りつつ、適正な財政運営に取り組んでいく考えでございます。

制度改革等情勢は流動的ではありませんが、24年度から3カ年間の中期経営計画を策定し、必要に応じて見直しを行いながら、保険者ニーズを踏まえた事業展開及び良質なサービス提供に心がけたいと考えております。本会が果たすべき役割を十分認識し、社会的に信頼される国保連合会を目指して全力で取り組んでまいり所存でございます。

本年も一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。